

「ヒトの交流・モノの流通」

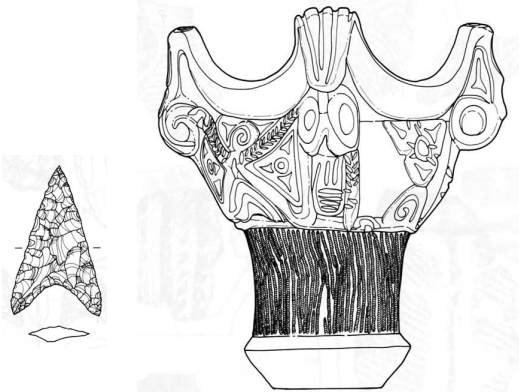
ヒトは、モノや情報を運びあい、分かちあうことで繁栄してきました。分け合い、交換しあうには、相手を知り、気心が通じることが大切です。

太古の時代、ヒトは何を、どんな方法で運び、文化交流を生んだのでしょうか。今年度は、去年の‘運ぶ’に続き、‘交流’そして‘流通’について考古資料から考えてみます。

場 所： 長野県立歴史館「講堂」

時 間： 午後1時30分～3時

受 講 料： 観覧料が必要です



1	旧石器・縄文時代の黒曜石流通 長野県立歴史館 総合情報課長 大竹 憲昭	5月20日(土)
2	焼町 VS 勝坂 ～競い合い、高め合う縄文中期の土器装飾～ 長野県立歴史館 専門主事 寺内 隆夫	9月30日(土)
3	稲作の開始と渡来石器 ～磨製石庖丁の生産～ 長野県立歴史館 専門主事 町田 勝則	10月21日(土)
4	古代銭貨の使われ方 長野県立歴史館 考古資料課長 西山 克己	11月18日(土)

問い合わせ先

長野県立歴史館 考古資料課

〒387-0007 千曲市歴代260—6

電話:026-274-3992 FAX:026-274-3996

メール:rekishikan@pref.nagano.lg.jp

H P <http://www.npmh.net>

※ 長野県立歴史館パスポート会員募集中

おトクなパスポートです。詳しくはHPでご確認ください。